

寅さん歩 その 23

東京の博物館めぐり－48

品川区－1



平野 武宏

新型コロナウイルス感染拡大で続いていた東京都の緊急事態宣言が 2021 年 10 月 1 日から解除になりましたので、お休みして残っていた区の博物館めぐりを再開しています。寅さん歩 東京の主要道路の起点～終点と並行して掲載します。今回は品川区の博物館めぐり（2021 年 12 月に訪問）です。

右上の写真は 1815 年（弘化 2 年）頃の東海道品川宿の街並みを復元したものです。今回紹介する品川区の博物館はいずれも品川区のはずれにありました。区内にある博物館（記念館・資料館・展示館等の総称とします）から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料、最寄り駅は代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔品川区立品川歴史館〕

品川区大井 6-11-1

最寄り駅 JR 京浜東北線 大森駅

大田区大森駅北口から池上通りを大井町駅方面に進むと品川区に入り、鹿島神宮の先、右側に「品川歴史館」（写真下左）があります。郷土資料の保存と活用、区民文化の向上を目的に 1985 年（昭和 60 年）に開館しました。品川歴史館建設前の敷地には昭和初期に建てられた和風建築の建物（安田善助邸）があり、戦後は吉田秀雄記念館（電通所有）として茶事などに利用されていました。



現在の品川歴史館には、当時の茶室「松滴庵」(しょうてきあん) (写真上右) が庭園と共に残されています。



常設第一展示室では、東海道第一の宿場として栄えた品川宿を中心に、原始・古代から現代にいたるまでの品川の歴史が学べるようになっています。また、国の史跡に指定されている大森貝塚についても詳しい説明があります。写真上左は常設第一展示室入口、写真上右は品川宿の家並みです。南北の19町40間(約2,145m)で、高輪町境から大井村境まで家並みが続いていました。この模型は1845年(弘化2年)頃の品川宿並図をもとに、目黒川を中心に東海道に面した家並み約500mを復元しています。写真下左は大森貝塚、写真下右は発掘された縄文土器です。



開館は9時～17時。休館日は月曜日・国民の祝日(日曜日と重なった場合は開館、国民の祝日が月曜日の場合は、その翌日)です。観覧料は一般100円、小中学生50円。品川区立の小・中学生、70歳以上の方、障害のある方は無料です。なお、特別展示室では「変わりゆく品川の風景」(写真下)が開催されていました。



〔船の科学館〕 品川区東八潮 3-1

最寄駅 ゆりかもめ 東京国際クルーズターミナル駅

船の科学館は1974年（昭和49年）7月20日「海の記念日」に開館した、海と船の文化をテーマにした海洋博物館です。現在は「本館」の展示は休止中で「船の科学館別館展示場」と「初代南極観測船 宗谷」を公開しています。この場所も江東区と境を接した品川区です。

〔船の科学館別館展示場〕

船の科学館本館（写真下左）の手前に別館展示場があります。写真下右は別館展示場の入り口です。



写真下は別館展示場の室内です。



[初代南極観測船 宗谷]

「宗谷」は1938年（昭和13年）に建造され、第2次世界大戦では海軍の特務艦、戦後は引き揚げ船・灯台補給艦として活躍しました。大改造され1956年（昭和31年）より、わが国初の南極観測船として6回も南極を往復しました。1978年（昭和53年）引退、翌年から船の科学館の前面水域にて係留展示（写真下）を開始しました。入場料は無料でしたが、維持協力金の募金がありました。



写真下左は操舵室、操舵室の裏の船長室（写真下右）には船長さんの人形がいてびっくりです。



写真下左は無線室、右は機関部観察窓です。



写真下左は士官室、右は甲板です。



[杉野学園衣装博物館]

品川区上大崎 4-6-19

最寄駅 JR 目黒駅西口

目黒駅は品川区にあり、西口から目黒川に下りる行人坂の途中からは目黒区です。



行人坂の手前を左折して、ドレメ通り（写真上左）を進むと両側に杉野学園の校舎があり、杉野学園本校舎の先に杉野学園衣装博物館（写真上右）があります。同館は1957年（昭和32年）杉野学園創設者の杉野芳子さんによって設立され、教育実習の場にしました。訪問時には2021年後期「館収蔵品展 刺繍—様々な装いにみる装飾—」が開催中。西洋、日本、民族、現代の刺繍の服装資料が展示されていましたが、残念ながら撮影不可でした。

開館時間は10時～16時、休館日は日・祝日、大学の定める休館日です。入館料は一般300円、高校生250円、小・中学生200円です。館内の服装資料の代わりに目黒駅に向かう帰りにドレメ通りの左側の杉野学園校舎前の学園掲示板にある受賞作品（写真下）をご覧ください。



【こぼれ話】大森貝塚の碑

大田区大森駅北口から池上通りを品川区立歴史館に向かうと大田区山王1丁目に「史跡大森貝塚」の案内表示があり、1930年（昭和5年）建立の「大森貝塚（かいきよ）の碑」（写真下左）がありました。さらに池上通りを進み、品川区に入ると、右側の品川区大井6丁目に「大森貝塚遺跡公園」があり、1929年（昭和4年）建立の「大森貝塚の碑」（写真下右）がありました。大森貝塚遺跡公園の先が品川区立歴史館です。「大森貝塚」とは1877年（明治10年）に来日したモース博士が横浜から乗った汽車で大森から品川に向かう窓から貝層を発見、日本で初めての科学的発掘調査が行われ、「日本考古学発祥の地」となりました。1935年（昭和30年）に国の史跡に指定、1985年（昭和60年）品川区「大森貝塚遺跡公園」が開園されました。

「大森貝塚の碑」が二か所にあるのは、モース博士が発見した場所の住所が記載されていなかったため、モース博士と一緒に発掘した人の記憶をもとに大田区の場所に「大森貝塚の碑」(写真下左)が建立されました。その後、1977年(昭和52年)モース博士が発掘に際して地主と交わした文書から住所の記載と付近図が発見され、品川区大井の場所(写真下右)が裏付けられたとのことです。寅さん歩 21 東京発祥之地めぐり(学問・文化編2)をご覧ください。



[バーチャルウォーク途中報告]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」のバーチャルウォークで伊勢神宮での参拝を済ませ、弥次さん 喜多さんと別れ、四日市日永追分に戻り、残った東海道五十三次を京三条に向かいました。2022年1月4日、近江国(現在の滋賀県)草津宿(日本橋から466km)に到着しました。

新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言は2021年10月1日から解除されましたが、新型コロナウイルスの新しい変異株(オミクロン株)が見つかり、世界中で感染拡大が始まっています。日本での感染拡大が心配です。例会が再開されましたが、毎日の運動不足対策にはマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。毎日の歩いた距離をコースシート上のマスの色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印

刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝